

11~4・19) 真心が伝わる プレゼントが幸運の鍵。	★獅子座 (7・23~8・22) 海外がらみで 幸運あり。外国人と知り合って意気投合も。	★射手座 (11・23~12・21) 異性運好調。 異性からの誘いに乗って幸運あり。
20~5・20) 足元を見られ がトラブルを防ぎます。	★乙女座 (8・23~9・22) 仕事や人間関 係で注目あり。期待に応えて幸運です。	★山羊座 (12・22~1・19) 家族とのトラ ブルあり。夕食時の会話が仲直りの鍵に。
21~6・21) 雑用が多いと て大きな幸運がありそう。	★天秤座 (9・23~10・22) 他人を信じて 幸運あり。お人よしに徹して良いことも。	★水瓶座 (1・20~2・18) 好奇心が旺盛 なとき。仕事がらみの習い事に幸運あり。
22~7・22) 何事も我慢が 辛いやばると責任問題も。	★蠍座 (10・24~11・22) 迷い多し。一 歩引いて視野を広げて活路が見えそう。	★魚座 (2・19~3・20) 親しい友達との 飲食が、信頼関係を発展させそうです。

大阪や伊勢神宮などと熊野を結ぶ祈りの道「熊野古道」。主要ルートが世界遺産に登録されて10周年となった昨年から、毎日新聞和歌山面では、画家の熱田親憲さん(79)=兵庫県宝塚市=の「熊野古道みちくさ記」を連載しています。その掲載分のうち、京都を起点として大阪を通る道を今回から大阪面で再掲します。熱田さんは2007年7月~08年9月、御堂筋周辺を絵と文章で描く「御堂筋ものがたり」を大阪面で55回連載しました。その時のような優しい絵筆で皆さんのがんばる姿を描いています。

熊野古道

卷之三

1



城南宮（京都市伏見区中島鳥羽離宮町）にて

東で城南宮の脇を流れ
る鴨川の下鳥羽辺りから乗船し、大阪・八軒
家に向かっている。上皇にどっては一カ月近く
この旅を決意することは決死の覚悟であった
ようだ。白装束で道中の安全を祈つたのであ
ろう。

いう。神苑に入ると離宮の築山と伝えられている「春の山」には源氏物語に因んだ草木が植えられ、丁度「しだれ梅と椿まつり」の最中で花の天国にいるようだた。「平安の庭」に入るところ、程よい曲線の流れをもつ小川が現れ、毎

シーンがある。流れぐる盃が自分の前を過ぎるまでに詩歌を詠み上げるのはスリル満点だ。この詩歌は別途披露され、漢詩集として後世に残されていく。風流を詠む宴にも繋れを祓う儀式が行われる古代中国と、熊野参詣の出立式に穢れ無き白装束で禊を行なう中

影を追って下鳥羽周辺に立つと、当時は大池が隣接していて鳴門に続いていたようだ。幕末の大激戦地であたとは驚きだ。
紅梅や桜を受けて戸開く
(毎月最終月曜掲載)
次回は11月30日掲載

安全祈り 古人の魂に学ぶ

A traditional Japanese illustration featuring a woman in a red kimono standing on the left, looking towards the right where a large tree and a path are depicted. The background shows a misty landscape with mountains.

野詣は987年に花山法皇の熊野御幸から始まり、本格化したのは白河上皇の院政となつた1090年ごろからである。白河上皇は熊野御幸に出立することになると、鳥羽離宮内に斎屋を作つて精進の行に入り5日間、毎日禊祓を続けたという。奉行を行なつた出立式の再現イベント

やかつて、今では方除
家内安全などを祈る城
南宮になつてゐる。鳥
羽離宮内にあった鎮守
の城南宮の鳥居をくぐ
り、赤い正門を通して、
巫女さんに迎えられて、
祈禱殿前に進む。建築
様式から平安時代後期
の重みを感じ、神職は
尋ねると、昔の離宮は
測量地形で東西1・5

年催される「曲水の宴」世日本とに繋がりを
の案内板が立てられていた。書道のお手本で有名な書聖・王羲之の別荘・蘭亭で催された曲水の宴(350年3月3日)は古来中國で有名だった。41人の名士を招き、禊祓の礼を行った後、曲水の流れのふちに座を設け、詩酒に興じている有名な歴史の世界から現に戻って、「室町の庭」に出ると、芝生の庭で石組みを置いた枯山水に心が癒され、回遊式の池に垂れる生き生とした赤松に元気をもらひ、離宮の散策を楽しむ。題字・熱田秦華